

アンケート調査結果に基づく ビジョン改定の 大枠の方向性

【目的】

- ・アンケート調査結果【参考資料2】などの共有
- ・次期北区みんなのまちビジョン（以下「次期ビジョン」という）策定にかかる基本的な方向性の提案

【意見聴取のポイント】

- ・現状を踏まえ、次期ビジョンに盛り込むべきものとして、今後どのような視点、キーワードが重要であるか
- ・次期プラン策定の基本的な方向性は適切であるか



次期ビジョン骨子案作成

（基本的な考え方、将来像、戦略、基本方針、北区の特性・課題など）

○調査目的

「北区みんなのまちビジョン」をより地域の実情にあったものに改定するため、堺市北区在住の区民を対象に、北区の居住満足度や北区の課題・魅力、地域活動への参加状況などを調査し、区民の北区に関する意識を分析する。

○調査対象 16歳以上の北区民 3,000人
(① 無作為抽出2,500人 ② WEBモニター500人以上)

○調査方法 ① 調査票を郵送し、郵送又はネットでの回答を依頼
 ② 民間調査会社へ回答収集を依頼

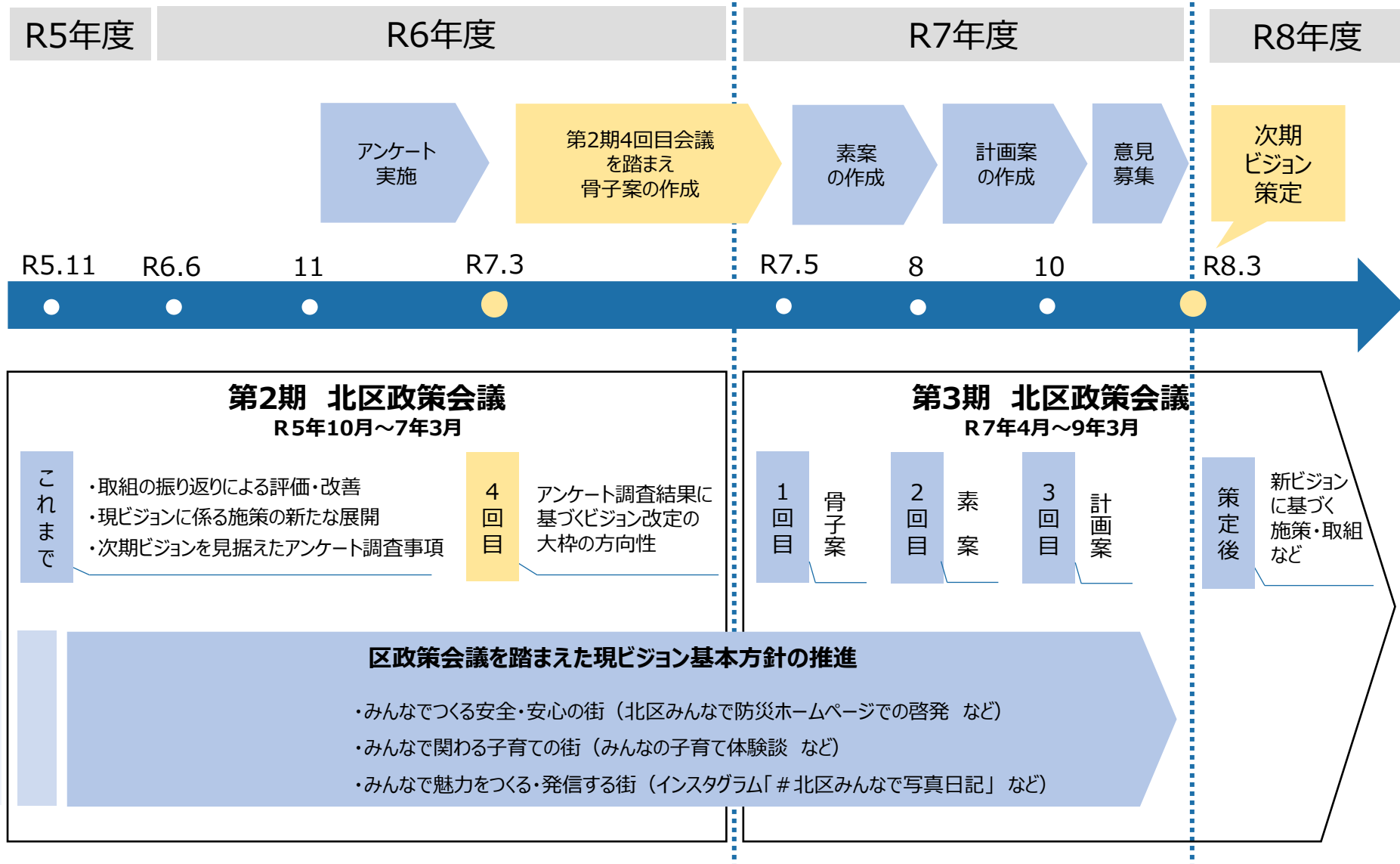
○回収サンプル数 1,532サンプル (① 1,017サンプル ② 515サンプル)

○調査項目 「堺市北区民意識調査 調査票」(参考資料1 55～65ページ参照)

- ・区の居住満足度
- ・区の特色・魅力、区への愛着について
- ・自治会やボランティア等の地域活動への参加のきっかけについて
- ・区役所や区民自らの魅力情報発信について など

○実施時期 ①令和6年11月18日～12月16日 ②令和6年12月20～27日

次期ビジョン策定スケジュール



○ビジョンがめざす北区の将来像・目標の達成状況

アンケート調査結果などから、将来像は浸透しきっておらず、目標の中には未達成の項目もある状況

○上位計画である、次期堺市基本計画の策定方針

現行計画の基本事項など基礎となる部分の考え方は引き継ぎつつ、より効果的な内容へと見直す形で策定予定 【参考資料3】

○北区を取り巻く環境の変化

南海トラフ地震発生の可能性が相対的に高まっていることや能登半島地震など相次ぐ災害の発生による防災減災対策の必要性、防犯に関する取組強化の必要性、一人暮らし高齢者の増加 等



現ビジョンの主な構成の枠組みをベースに、区民アンケートの調査結果や社会経済情勢の変化等を踏まえ、見直すべき項目を整理し、より実効性のある内容へと精査する形で策定。

計画期間は、令和8年（2026年）度～令和12年（2030年）度とする。

区民協働による地域共創の方向性を示す指針

基本的な 考え方

すべての人が住みたくなる街、ずっと永く住み続けたい街

将来像

「いろんな『たのしい』でつながる街・北区」
～「たのしい」が出会い、つながり、「たのしい」で続く街～

戦 略

戦略A 「たのしい」ことを新しく始める
戦略B 「たのしい」が横に広がりたてに掘り下げる視点を持つ
戦略C 「たのしい」で協働の意識を醸成する

基 本 方 針

基本方針1 みんなでつくる安全・安心の街
基本方針2 みんなで関わる子育ての街
基本方針3 みんなで魅力を・つくる発信する街

反 映

区民アンケート調査結果・社会情勢の変化 等

基本的な考え方

みんなが住みたい・住み続けたい北区

(現ビジョン「すべての人が住みたくなる街、ずっと永く住み続けたい街」)

- 一部文言を変更。
- 引き続き人口減少・高齢化社会の課題を克服するため、安全・安心で持続的な北区を創生することが求められる。

アンケート結果などから

- 人口や出生数は、市内で5年前と変わらず最も多いが、社会動態推移の直近10年減少数総計はマイナス1656人となっている。
- 北区内に住み続けたくない理由（問5）では、「新しいところで住みたいから」が1位（33.6%）となっており、社会減少を食い止めるために、北区に住み続けたいと思う方を増やすことが求められる。

めざすべきまちの将来像

「『たのしい』でつながる北区」

(現ビジョン 「いろんな『たのしい』でつながる街・北区」
～「たのしい」が出会い、つながり、「たのしい」で続く街～)

- 一部文言を変更。
- 北区の特性(7区で最多の人口・現役世代人口・出生数、転入者が多い、豊かな歴史文化資源、居住満足度が高い)を活かした、共感を得やすく行動につながりやすい前向きで明るい将来像を引き続き掲げる。

アンケート結果から

- 北区がめざす将来像の認知率(問1)は、「知っている」「見た・聞いたことがある」と答えた割合が22.2%にとどまっており、継続して周知することが求められる。
- 住民同士のかかわりあい状況(問22の8項目)は、5年前調査時と比べて全て減少しており、無理のない「ゆるやかなつながり」がより重要である。

戦略（将来像への道筋）

戦略A 「たのしい」ことを新しく始める（行動のきっかけを作る）

戦略B 「たのしい」が横に広がり縦に掘り下げる視点を持つ（つながる機会を作る）

戦略C 「たのしい」で協同の意識を醸成する（つながりを継続させる仲間を作る）

考 慮

情報発信・収集（区民が取り組みやすく、区役所に求められている）

アンケート結果から

○北区の魅力向上・課題解決に対して、区役所が力を入れてすべきこと(問10)の1位は「情報の発信」(38.5%)、区民ができること(問11)の1位は「区役所などからの情報に関心を持つ」(56.3%)となっている。

○地域活動に参加したくなる条件（問13）では、「興味関心のある活動があれば」(39.8%)、「雰囲気、居心地がよければ」(29.6%)、「地域活動の曜日や時間が参加しやすいければ」(21.1%)となっており、さまざまな活動をよく知ってもらうことで、参加者が増加する可能性がある。

○北区の情報を伝達・発信したくなる条件（問16）では、「魅力を感じるスポットを知ったら」(38.5%)、「魅力を感じる地域活動を知ったら」(28.1%)が上位となっており、情報を知ったら伝達したい方が一定数おり、魅力情報の的確な発信が情報の拡散につながる。

現行の基本方針は引き継ぎ

基本方針1 みんなでつくる安全・安心の街

基本方針2 みんなで関わる子育ての街

基本方針3 みんなで魅力をつくる・発信する街

アンケート結果などから

○優先改善課題として居住満足度の評価が平均以下より低く、かつ居住課題と感じていることが平均以上で抽出したところ、「防犯に関する取組の充実」、「防災に関する取組の充実」が上位。

○目標達成状況（達成率50%）

基本方針	指標	令和元年度	令和6年度	目標値 (令和7年度までに)	達成状況
安全 安心	「防犯に関する取組の充実」に不満を感じている区民の割合	16.4%	13.1%	10%未満	未達成
	「防災に関する取組の充実」に不満を感じている区民の割合	13.5%	6.9%	10%未満	達成
子育て	「子育て支援に関する取組の充実」に満足している区民（未就学児あり）の割合	50.8%	47.1%	56%	未達成
	「子育てがしやすいまち」と思う区民の割合	52.1%	57.8%※	57%	達成
魅力	「魅力や愛着を感じるまち」と思う区民の割合	61.3%	74.3%※	67%	達成
	「地域活動に参加している」区民の割合	21.9%	23%	30%	未達成

※は市民意識調査令和5年度時の値

今後重要となる視点 ～これまでの会議のご意見を踏まえて～

- 関心を持ってもらう機会を作るため、興味の高いイベント・事業への関連付け
- 多様な主体の連携 ○web上だけでない多様な媒体での情報発信
- 高齢化への対応、社会参加の促進 ○フレイル、介護予防、認知症対策

アンケート結果などから

- 参加したい地域活動（問14）では、「健康づくりに関する活動」(30.4%)、「スポーツ、レクリエーションに関する活動」(22.2%)が上位。
- 地域活動に参加したくなる条件(問13)では、「興味関心のある活動があれば」(39.8%)が上位となっている。
- 興味がある区役所からの発信情報(問18)では、「魅力スポット」(33.9%)、「防災」(33.8%)が上位。次いで、「イベント・講習」(32%)、「防犯」(29.4%)となっている。
- 市の将来推計では、高齢化率が2027年ごろから徐々に上昇、要支援・要介護認定者数が2030年にピークに達すると見込まれている。